

●第3石狩号による浚渫作業

3次元化

●3次元点群データ(ヒートマップ)

現況土砂



●現場全景(12月16日現在)

大津漁港-3.5m岸壁改良その他工事



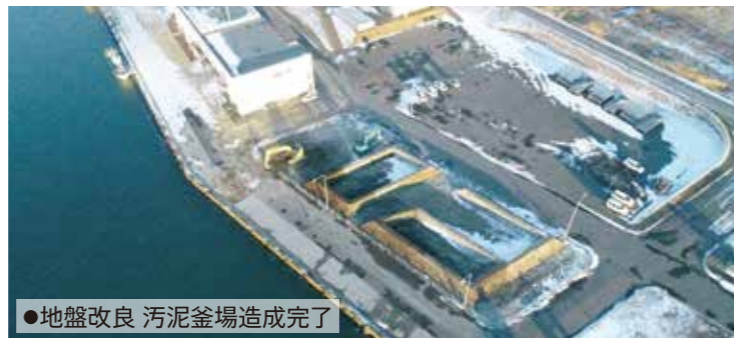
●浚渫土 土運船積込み状況



●浚渫土 揚土状況



●浚渫土 運搬・土捨状況



●地盤改良 汚泥釜場造成完了

- 工事名 : 大津漁港-3.5m岸壁改良その他工事
- 進捗率 : 49.0%(令和3年12月末日現在)
- 施工業者 : 萩原・釧石経常建設共同企業体

- 施工場所 : 北海道中川郡豊頃町大津
- 発注者 : 北海道開発局 釧路開発建設部
- 施工期間 : 令和3年3月31日～令和4年3月4日

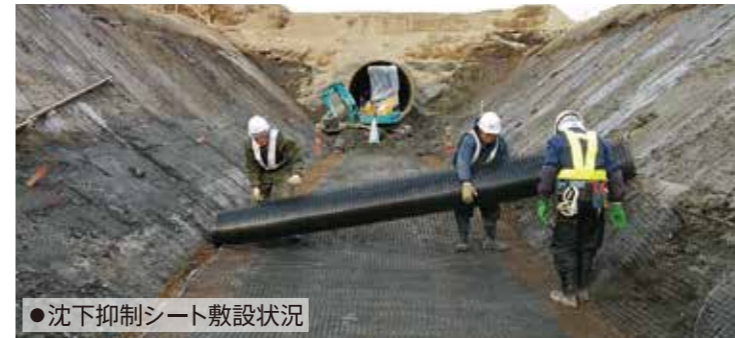
土木

本工事の主な工事内容は、陸上での地震による液状化対策(地盤改良工)と海上作業による水深を確保する浚渫作業(海上地盤改良工・浚渫工)、及び岸壁の鋼矢板の老朽化対策(防食工)です。施工にあたっては、8月～12月までの期間が漁業活動により作業に制約があり、12月～3月までの短い期間内で施工を完了させるべく効率的な計画と、近隣住民・他工区工事・漁業組合との作業間の打合せと対策が必要とされます。特に浚渫作業では、水中掘削状況を可視化するICT(3次元データ)を活用することにより、手戻りなく効率的に施工ができます。繁忙期間中は厳冬の作業となり、海上作業と陸上作業での災害リスクが高くなる為、積極的に情報化施工を活用することで、施工品質の向上と働き方改革の推進を目指して事故のない様に安全作業で工事を進めています。

現場代理人:中川 貴大/監理技術者:梅津 秀之/主任技術者:山本 哲哉/担当技術者:千葉 百華



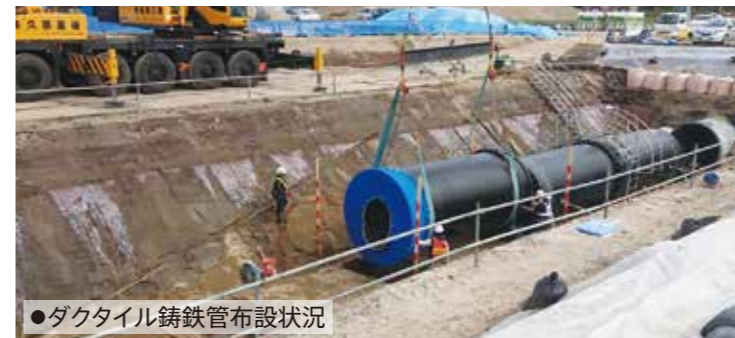
勇払東部地区富野用水路美里中流工区災害復旧工事



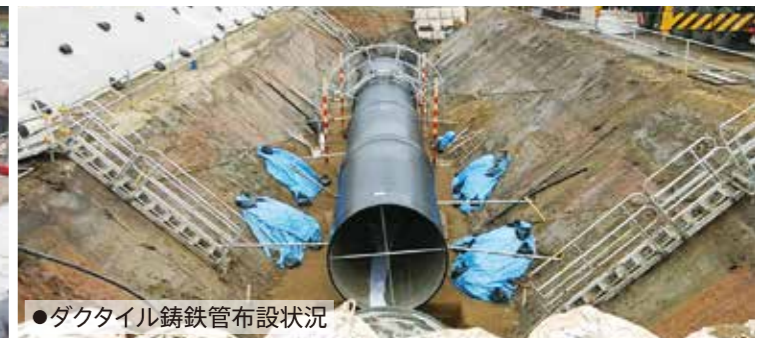
●沈下抑制シート敷設状況



●基礎材転圧状況



●ダクタイル鉄管布設状況



●ダクタイル鉄管布設状況

- 工事名 : 勇払東部地区富野用水路美里中流工区災害復旧工事
- 進捗率 : 90.0%(令和4年1月現在)
- 施工業者 : 萩原・菱中経常建設共同企業体

- 施工場所 : 北海道勇払郡厚真町
- 発注者 : 北海道開発局 室蘭開発建設部
- 施工期間 : 令和3年6月1日～令和4年3月9日

2018年9月6日午前3時過ぎ、北海道を非常に強い揺れが襲いました。道内では統計史上初となる震度7を厚真町で観測し、土砂災害などによって多くの被害が発生しました。本工事は、上記により被災した富野用水路の災害復旧を行う工事です。本工事は、施工延長L=250.05m、土工(掘削 V=19,000m³)、管体工(ダクタイル鉄管 φ2,200 L=250.05m)が主な工種です。営農に使用している用水路の後旧の為、作物収穫後から施工を開始し、1月10日現在、約230m管の敷設作業が完了しています。今年は雪が多く、厳しい条件の中での施工となりますが、無事故・無災害で完工できるよう、作業に従事する者一同協力して頑張っていきたいと思っております。

現場代理人:東村 一徳/監理技術者:秋葉 裕典/主任技術者:尾上 竜太(菱中建設株式会社)



土木



●消波ブロック設置状況



●現場全景(11月6日現在)

胆振海岸保全工事の内 白老日の出町人工リーフ外建設工事

茅室川西地区 帯広かわにし導水路雄馬別16線工区外一連工事



●被覆ブロック撤去前状況



●被覆ブロック撤去後状況



●コンクリートブロック製作前



●コンクリートブロック製作完了

- 工事名 : 胆振海岸保全工事の内 白老日の出町人工リーフ外建設工事
- 進捗率 : 67.2%(令和3年12月末日現在)
- 施工業者 : 萩原・菱中経常建設共同企業体
- 施工場所 : 北海道白老町日の出町・苫小牧市有明町
- 発注者 : 北海道開発局 室蘭開発建設部
- 施工期間 : 令和3年7月28日～令和4年3月18日

土木

海岸保全と共に、ナマコや昆布などの水産資源にも配慮した改良型消波ブロックを製作しそれを用いた人工リーフの設置及び、前年度までに設置された被覆ブロックが海岸線に打ち上げられている為、撤去作業を行いました。消波ブロックの製作と被覆のブロックの撤去は既に終了し、現在は人工リーフの設置を施工しております。

経験豊富な所長に支えられ、3人の20代の職員で率先して現場を仕切り日々作業を行っています。施工後人工リーフは海中に隠れてしまいますが、これからも白老町にお住いの方をお守りしさらなる発展を期待しております。

現場代理人・監理技術者:表 孝弘 菱中建設株式会社
主任技術者:壺内 章矢 萩原建設工業株式会社
担当技術者:桐山 成生・平野 龍 菱中建設株式会社



●鋼矢板打込状況



●床掘状況(テレスコラム)



●ダクタイル铸铁管布設状況



●埋戻し状況

- 工事名 : 茅室川西地区 帯広かわにし導水路雄馬別16線工区外一連工事
- 進捗率 : 90.1%(令和3年12月末日現在)
- 施工業者 : 萩原建設建設工業株式会社
- 施工場所 : 北海道河西郡茅室町雄馬別、帯広市八千代
- 発注者 : 北海道開発局 帯広開発建設部
- 施工期間 : 令和3年6月10日～令和4年3月18日

まずはじめに、この帯広・茅室地区は小麦や豆類、長いもなど20,637haを抱える農業地帯です。現在の用水施設では、近年の営農状況の変化に伴ってこの地域で必要となる用水の増加や、作物育成時期(4月～9月)の降雨量が少ないため、農作物の生産や営農上の支障となっています。このため、本工事では農業生産性の向上と維持管理の軽減を図り、農業経営の安定を目的として、水需要の変化に対応した用水再編に伴う水路の整備を行っています。施工内容として、ダクタイル铸铁管(Φ1,000)L=688.05m、ダクタイル铸铁管(Φ600)L=199.61mの合計L=887.66mを埋設する工事です。また、施工箇所も3箇所に分かれている点在型の工事となっております。

7月下旬より本工事を開始し、12月末現在で進捗率90.1%となっております。残りも少なくなってきましたが、最後まで安全作業で施工していきます。

現場代理人・監理技術者:梅崎 寿一/担当技術者:林 真弓・上野 みなみ



土木



●施工状況(11月30日撮影)

上札内帯広線上札内橋架換工事(下部工)(補正・明許)外



●鋼矢板打込み状況(クラッシュパイラー)①



●鋼矢板打込み状況(クラッシュパイラー)②



●床掘状況①



●床掘状況②

- 工事名 : 上札内帯広線上札内橋架換工事(下部工)(補正・明許)外
- 進捗率 : 54.0%(令和3年12月末日現在)
- 施工業者 : 萩原建設工業株式会社
- 施工場所 : 北海道河西郡中札内村上札内
- 発注者 : 北海道十勝総合振興局 帯広建設管理部
- 施工期間 : 令和3年8月20日～令和4年3月30日

土木

一般道道上札内帯広線の上札内橋は、中札内村の南側市街地と西側の農業地帯を結ぶ区間に位置し、住民生活・産業を支える重要な橋梁です。現橋梁は1965年完成、建設から50年以上が経過し老朽化による損傷が進行していることから、掛け替え工事を実施しています。本工事は、P1壁式橋脚(H=11.3m、V=326m)1基、土留・仮締切工(鋼矢板、切梁・腹起し)1式、P4壁式橋脚(H=10.1m、V=245m)、土留・仮締切工(鋼矢板、切梁・腹起し)1式、法覆護岸工(連節ブロックA=517㎡)、根固め工(根固めブロックN=48個)が主な工事内容になります。11月1日からより工事を開始し、鋼矢板圧入機(クラッシュパイラー)によりP1・P4鋼矢板仮締切を年内に完了させ、1月よりP1の掘削を開始し現在は底版鉄筋の組み立て中です。P4については締切り内の掘削および土留めを施工中です。これから厳寒期に入り工事も佳境を迎えますが無事故無災害で現場を終えられるよう、現場従事者全員が一致団結し施工を実施していきます。

現場代理人・監理技術者:星越 晃自/担当技術者:大籠 雅敏・小針 優聖



●現場全景(12月27日現在)

直別共栄線防B255改良工事(補正・明許)外



●着工前



●重機用足場工 大型網かご布設



●底版コンクリート打設状況



●擁壁工 底版コンクリート打設状況

- 工事名 : 直別共栄線防B255改良工事(補正・明許)外
- 進捗率 : 63.0%(令和3年12月末日現在)
- 施工業者 : 萩原建設工業株式会社
- 施工場所 : 北海道十勝郡浦幌町厚内
- 発注者 : 北海道十勝総合振興局 帯広建設管理部
- 施工期間 : 令和3年8月6日～令和4年3月30日

本工事は、道道直別共栄線の海岸に面する道路の波浪による被災及び通行不能状態となる事象を解消するための波返し擁壁を設置する工事です。

主な工事内容は、重機用足場工撤去L=69m、重機用足場工設置L=419m、擁壁工L=66m(V=734m³)となっています。

重機用足場工では200t吊クローラークレーンを使用し大型網かごの撤去設置を行い、10月中旬より重機用足場の設置を行い、11月中旬に設置完了しており、その後、擁壁工掘削箇所に軽量土留パネル、大型土のう設置、12月上旬から擁壁工の床掘、12月下旬から擁壁工の施工を行っています。引き続き安全作業で施工し、無事故で完工できるよう一同協力して頑張りたいと思います。

現場代理人・監理技術者:川路 将平/担当技術者:森山 義継・工藤 聖也



土木